

2026 年 9 月 24 日

「リコー バイオメディカル スタートアップ ファンド」を通じて、 ユナイテッド・イムニティ社へ追加出資

～mRNA 創薬分野での連携可能性を見据え、
がん免疫療法を中心とした創薬スタートアップ企業を引き続き支援～

株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)は、このたび、がん免疫療法を中心とする医薬品の研究・開発・製造・販売を手がけるユナイテッド・イムニティ株式会社(代表取締役社長:岸田 将人)に対し、追加投資を実行しました。本件は、2022 年 9 月に株式会社ベンチャーラボインベストメント(代表取締役:山中 唯義)と設立したコーポレートベンチャーキャピタルファンド「リコー バイオメディカル スタートアップ ファンド」を通じた第五号投資であり、同社への投資は今回で 3 回目となります。

ユナイテッド・イムニティは、がん免疫療法を中心とする医薬品の研究・開発・製造・販売を行っており、京都大学発のナノ粒子型ドラッグデリバリーシステム(DDS)*1「Myeloid Targeting Platform™」の臨床応用を目指しています。同社の基盤技術は、マクロファージや樹状細胞に選択的に薬剤を送達する技術であり、がん組織やリンパ節に存在するマクロファージ等を標的として任意の薬剤を届けることが可能です。この特長を活かし、マクロファージを標的とした新たながん免疫療法の研究開発に注力しています。

さらに近年では、同社独自の DDS と mRNA を組み合わせた新たな創薬アプローチとして、in vivo CAR-M(Chimeric Antigen Receptor Macrophage)の研究開発を推進しています。in vivo CAR-M は細胞を前提とした CAR 技術から注射剤へのパラダイムシフトを実現する次世代の細胞治療モダリティとして注目されており、がん免疫療法や自己免疫疾患等新たな治療領域への展開が期待されています。

リコーグループは、成長領域であるバイオメディカル事業において、リコーバイオサイエンシズ株式会社(代表取締役社長:高木 大輔)を中心に mRNA 製造受託(CDMO)事業を展開しています。同社は、研究用途から臨床開発段階まで対応可能な mRNA の設計・製造・品質評価技術が強みとしており、国内における高品質な mRNA 供給基盤の構築を進めています。

mRNA 医薬の実用化においては、「高品質な mRNA の製造」と「標的細胞へ効率的に届ける DDS 技術」の双方が重要な要素となります。リコーバイオサイエンシズが有する mRNA 製造技術と、ユナイテッド・イムニティが有するマクロファージ選択性 DDS 技術は高い補完関係にあり、両社の技術的な強みを組み合わせることで、次世代 mRNA 医薬や免疫細胞治療分野における新たな事業機会の創出が期待されます。

今回の追加出資は、ユナイテッド・イムニティの技術開発および事業進展に対する評価に加え、リコーグループが推進する mRNA 関連事業との戦略的な親和性を踏まえたものです。今後は、mRNA 創薬

における製造技術と DDS 技術の連携可能性を探索しながら、研究開発から製造までを支えるバイオメディカルエコシステムの構築を目指してまいります。

リコーは今後も、革新的な技術を有するスタートアップとの共創を通じて、mRNA 医薬、細胞治療、遺伝子治療など次世代モダリティの発展に貢献するとともに、人々の健康と福祉の向上につながる新たな価値創出に取り組んでまいります。

<背景>

リコーは、子会社であるリコーバイオサイエンス株式会社に対し、自社の生産工程の自動化技術や生産管理ノウハウを提供することで、同社が取り組む mRNA を活用した創薬事業の拡大を推進しています。この取り組みの一環として、2022 年 9 月、日本国内における mRNA 医薬品の創薬市場の活性化を目的に、創薬分野のスタートアップ企業の研究開発支援を行う本ファンドを設立しました。なお、本ファンドはベンチャーラボインベストメントを GP (General Partner)^{*2}として運営しています。

*1 ドラッグデリバリーシステム(DDS)… 体内での薬物分布を制御することで、薬物の効果を最大限に高め、副作用を最小限に抑えることを目的とした技術で、必要最低限の薬剤を、必要な場所(臓器、組織等)に必要な時(タイミング及び期間)に供給することを目指している。

*2 GP (General Partner) …無限責任組合員のことで、ファンドの運営に責任を負う組合員のこと。

■投資先概要

会社名	ユナイテッド・イムニティ株式会社 (英表記 United Immunity, Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 岸田 将人
本社所在地	東京都中央区日本橋室町一丁目 12 番 3 号
設立	2017 年 11 月 27 日
事業内容	がん免疫療法を中心とする医薬品の研究・開発・製造・販売
URL	https://unitedimmunity.co.jp/

■お客様のお問い合わせ先

株式会社リコー 経営企画本部 バイオメディカル事業センター
healthcare_ipsc@jp.ricoh.com

リコーバイオサイエンス株式会社
050-5375-0509
jp@elixirgensci.com

■関連情報

リコーバイオサイエンス株式会社
<https://jp.biosciences.ricoh.com/>

創薬共創基盤(iPS 細胞由来細胞技術・RNA-CDMO・バイオ 3D プリンター)紹介ページ
<https://www.ricoh.co.jp/about/business-unit/bio-medical>

■関連ニュース

日本の mRNA 医薬品創薬市場の活性化に向けてファンドを設立
https://jp.ricoh.com/release/2022/0830_1

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>